

デュアルレンズ体表温感知サーモグラフィ 「WS-S1000」 User Manual

1 製品仕様

デュアルレンズ体表温感知サーモグラフィ 「WS-S1000」 概要



●製品に関して

- ・サーモグラフィカメラと通常可視カメラのデュアルカメラ方式を採用
- ・非接触温度測定用高感度赤外線センサーで体表温情報を瞬時に検知、同時に通常可視カメラのリアル画像で対象者を視認
- ・複数名同時に体表温を監視、事前登録したしきい値を参照、異常体表温検知時は対象者を識別し、アラーム音で警告するとともにキャプチャ保存
- ・測定距離 1 ～2メートル
- ・測定誤差 $\leq\pm 0.3$ 度

●製品に関するご注意

- ・本装置で測定されるのは、「体の表面温度(体表温)」であり一般的な体温計で測られる「体温」の値とは異なります。
- ・本製品は人体がウイルスに感染しているかどうか判別する機器ではありません。
- ・体表温は計測時や計測前の環境条件、被測定者の状態等により変動します。
- ・本装置によるスクリーニングで発熱の疑いが出た場合は、体温計での再検温をお勧めします。
- ・発熱が確認された場合、別途医師による診察が必要です。
- ・本装置は、薬事認証を取得した医療機器ではありません。
- ・本装置を用いた診断などの医療行為にはご利用頂けません。

2

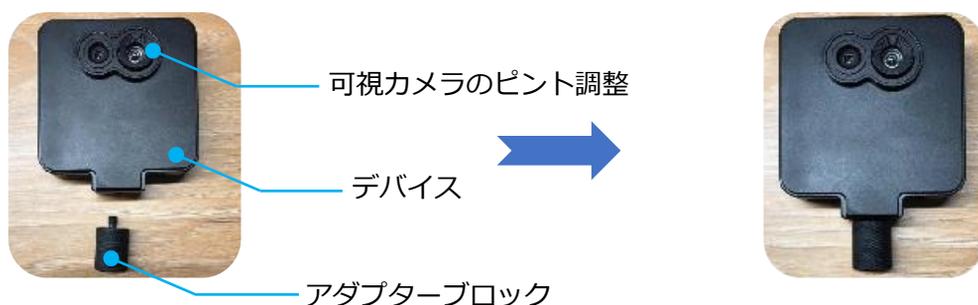
製品スペック

温度測定 アラーム	測定誤差	±0.3℃ (体表面温度 33℃～40℃間の場合)
	測定可能距離	1～2 m
	同時測定可能人数	1人～複数人数対応
	キャリブレーション (温度校正) 機能	搭載
	測定結果表示方法	6画面表示まで可能で それぞれの画面にアラームしきい値を設定可能
	異常値アラーム警告設定	設定しきい値より高い場合、アラーム警告
サーマルカメラ スペック	センサー技術	Uncooled FPA
	最大画像サイズ	160×120
	ピクセルサイズ	12μm
	スペクトラム	8-14μm
	NETD (熱感度)	<50mk
	画角	57°×44.3°
可視カメラ スペック	センサー	1/2.5 inch CMOS
	画素数	2 Mega Pixels
	解像度	1920×1080
	画角	80°×65°
ネットワーク	プロトコル	ICMP、TCP、UDP、RTP、RTSP、DHCP、PPPOE、UPNP、 DDNS、ONVIF、GB28181
	標準動画圧縮	H.264/H.265
画像	最大画像サイズ	1920×1080 (可視カメラ) / 160×120 (サーマルカメラ)
	ビデオ出力	PAL / NTSC サポート
	メインストリーム (解像度)	可視カメラ：1080P / 720P 設定可能 サーマルカメラ：640×480
	サブストリーム (解像度)	可視カメラ：D1 / CIF サーマルカメラ：VGA 640×480 / QVGA 320×240
基本スペック	動作可能温度	10℃～45℃ (最適温度環境:16℃～32℃)
	動作湿度	EC規格60068-2-30/24h 85% RH
	電源供給	DC12V (9～14V) ※消費電力3W
	本体サイズ	95mm×88mm×40mm
	重量	420g

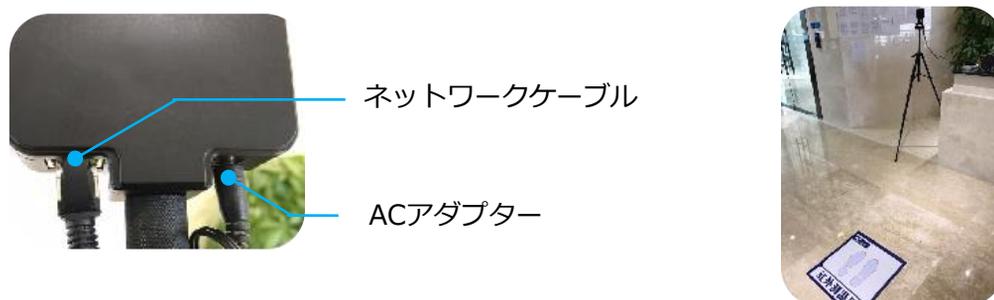
3 デバイス接続方法

本製品は精密機器です。設置および使用中は自分で分解しないでください。
また、強い衝撃を避けてください。

1 デバイスの下部に、アダプターブロックを取り付けます



2 ネットワークケーブルと電源を接続します ※使用状況に応じてアダプターブロックに、三脚を取り付けください



※ネットワークケーブル、三脚は、別売品となります

4 注意事項

本製品は精密機器のため、強い衝撃は避けてください。
また分解などしないよう取扱いには十分ご注意ください。
屋内での安定した環境・場所での使用に適しております。
屋外で使用する場合は、日陰に置いて直射日光や雨を避けるようにしてください。
水や湿気に弱く故障の原因になりますので、ご注意ください。

温度の安定性と精度を確保するには、設置環境・場所が次の要件を満たす必要があります。

- ・ 空気の対流が比較的遅く、穏やかで温度が比較的安定している屋内エリア
- ・ 直接風が吹いている吹き出し口エリアへの設置は避けてください
(屋内・屋外の境界エリア、エアコン、排気ファンの吹き出し口など)
- ・ 湿気の多い場所などでは、設置または使用しないでください
- ・ 地上と正対して、設置できるような安定した場所での使用

※各種設定後に、設置場所の変更など行う場合は、再度設定をして頂く場合がございます。
またデバイスやソフトを必要以上にお触りになると安定した使用ができない場合がございます。

*現場で使用する場合は、以下の点にもご注意ください。

NO.	操作	説明文
1	デバイス ウォームアップ	デバイスの測定精度と安定性を確保するために、デバイスの電源を入れて、温度測定の前50分前にウォームアップすることをお勧めします。 ※環境・状況によりウォームアップ時間は前後します
2	測定距離	測定者とデバイスの距離は1m～2mが最適です。
3	キャリブレーション (温度校正)	温度測定用スクリーンの中央部に測定者がくるようにしてください。  画面に異常な高温点(42°Cなど)がある場合は、測定対象者以外の熱源を取り除いて再テストをしてください。 また、測定者の体温が36.2°C以下の場合は正常な測定ができません。
4	人の流れ (推奨)	<ul style="list-style-type: none">・ 測定者は1列にて測定可能な速度で通行してください。・ 測定者は額をカメラに向けて露出させ、1秒から2秒の間滞在する事をお勧めします。・ 測定者は測定時に口を開けないでください。・ 測定者が激しく動いたり、温度差の大きい環境から入室する場合は、温度が安定してから測定する必要があります。

